

令和4年  
火災・救急・救助概要

宝塚市消防本部

# 目 次

## I 火災の概要

1	火災の発生状況	1
2	火災覚知種別の状況	4
3	火災の覚知から現場到着までの所要時間	4
4	初期消火状況	5
5	署所別火災発生状況	5
6	月別・時間別火災発生状況	6
7	出火原因	7
8	火災発生件数の推移	8
9	その他の出動状況	8
10	防災出動状況	9

## II 救急の概要

1	救急事故種別出動状況	10
2	傷病程度別搬送状況	11
3	署所別出動状況	12
4	医療機関別搬送状況	13
5	年齢区分別搬送状況	14
6	月別・曜日別出動状況	15
7	救急出動件数の推移	16

## III 救助の概要

1	救助事故種別出動状況	17
2	発生場所別活動件数・救助人員状況	18
3	建物内生存者確認による出動状況	19

# I 火災の概要

## 1 火災の発生状況

### (1) 火災件数

令和4年中の火災の発生状況は表-1・2・3のとおりで、総件数は27件発生し、前年と比べ1件増加しています。

火災種別ごとでは、建物火災は16件で前年と比べ1件減少、林野火災は0件で前年と比べ1件減少、車両火災は3件で前年と比べ1件増加、その他の火災は8件で前年と比べ2件増加しています。

### (2) 焼損棟数・面積等

焼損棟数は、19棟で前年と比べ2棟減少となっています。全焼棟数は2棟、半焼棟数は0棟とともに前年と比べ1棟減少、部分焼棟数は4棟で前年と比べ2棟減少、ぼや棟数は13棟で前年と比べ2棟増加しています。

焼損面積等は、建物焼損面積は205平方メートルで前年と比べ926平方メートル減少、建物焼損表面積は1平方メートルで前年と比べ56平方メートル減少しています。

林野の焼損面積は0aで前年と比べ6a減少しています。車両火災の焼損台数は3台で前年と比べ1台増加しています。

### (3) 死傷者

令和4年中の死者は0名で前年と比べ1名減少し、負傷者が11名で前年と比べ3名増加しています。

表-1 【火災種別件数】

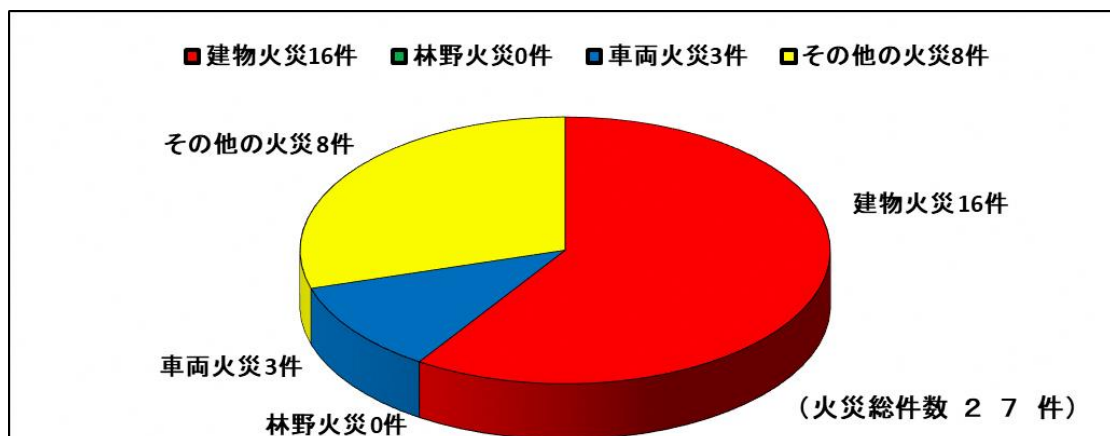


表-2

【前年との対比1】

区 分		単 位	令 和 4 年 (A)	令 和 3 年 (B)	増 減 (A)-(B)=(C)
出 火 件 数			27	26	1
火 災 種 別	建 物	件	16	17	△ 1
	林 野		0	1	△ 1
	車 両		3	2	1
	そ の 他		8	6	2
焼 損 棟 数	合 計	棟	19	21	△ 2
	全 焼		2	3	△ 1
	半 焼		0	1	△ 1
	部 分 焼		4	6	△ 2
	ぼ や		13	11	2
爆 発 損 害 棟 数			0	0	0
焼 損 面 積	建 物	m <sup>2</sup>	205	1,131	△ 926
	建 物 表 面 積	m <sup>2</sup>	1	57	△ 56
	林 野	a	0	6	△ 6
	車 両	台	3	2	1
り 災 世 帯 数	合 計	世 帯	26	22	4
	全 損		7	5	2
	半 損		2	1	1
	小 損		17	16	1
り 災 人 員		人	54	58	△ 4

※ 令和4年数値は概算値を含んでおり、確定値ではない。

※ △は減少を示す。

表-3

## 【前年との対比2】

区 分		単 位	令 和 4 年 (A)	令 和 3 年 (B)	増 減 (A)-(B)=(C)
死 者			0	1	△ 1
負 傷 者	30日死者	人	0	0	0
	重 症		1	1	0
	中 等 症		5	3	2
	軽 症		5	4	1
出 動 車 両	合 計	台	118	207	△ 89
	消 防 署		108	165	△ 57
	消 防 団		10	42	△ 32
出 動 人 員	合 計	人	440	900	△ 460
	消 防 署		379	593	△ 214
	消 防 団		61	307	△ 246
建 物 火 災	建 物 焼 損 面 積	m <sup>2</sup>	12.8	69.9	△ 57.1
	焼 損 棟 数	棟	1.2	1.2	0.0
一 件 当 たり	り 災 世 帯	世帯	1.6	1.3	0.3
	り 災 人 員	人	3.4	3.4	0.0
林 野 火 災 一 件 当 たり	焼 損 面 積	a	0.0	6.0	△ 6.0
出 火 率		件	1.2	1.2	0

※ 火災により負傷した後48時間以内に死亡したものは火災による死者として扱う。

※ 負傷者のうち「30日死者」とは、火災によって負傷した者が、負傷後48時間を経過して30日以内に死亡した者をいう。

※ 出火率は人口1万人当たりの出火件数をいう。

$$\text{出火率(件)} = \text{出火件数} \div \text{人口} \times 10,000$$

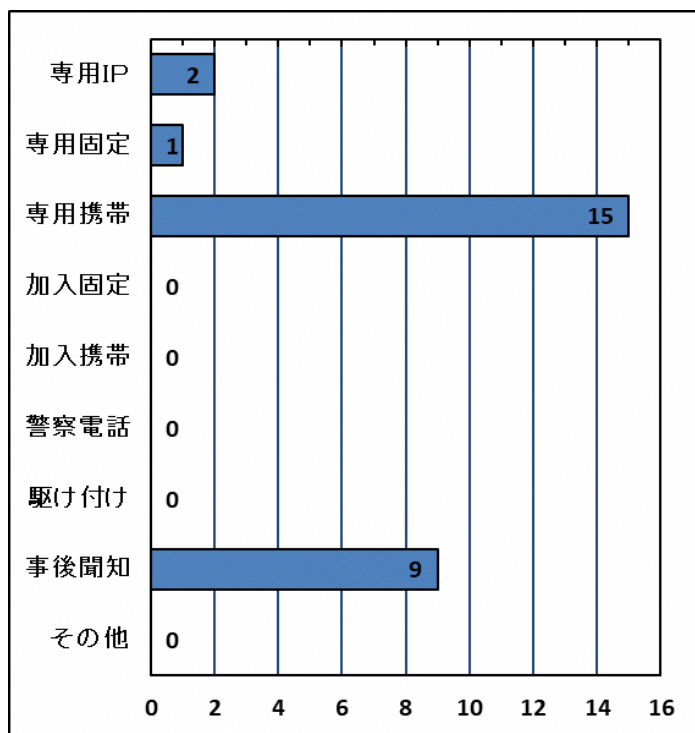
※ 令和4年数値は概算値を含んでおり、確定値ではない。

※ △は減少を示す。

## 2 火災覚知種別の状況

令和4年中、火災を覚知する種別が最も多かったのは、携帯電話からの119番通報で15件でした。

表-4 【火災覚知種別状況】



- ・専用IP⇒固定電話（NTT加入電話を除く）からの119番通報
- ・専用固定⇒固定電話（NTT加入電話）からの119番通報
- ・専用携帯⇒携帯電話からの119番通報
- ・加入固定⇒固定電話からの消防本部固定局への通報
- ・加入携帯⇒携帯電話からの消防本部固定局への通報
- ・警察電話⇒警察専用回線からの通報
- ・駆け付け⇒消防機関へ電話以外の方法で直接通報
- ・事後聞知⇒火災が消えた後に通報
- ・その他⇒上記以外の通報

## 3 火災の覚知から現場到着までの所要時間

令和4年中に発生した27件の火災から、事後聞知の火災9件を除いた18件の火災について、119番通報を受信してから、出動、現場到着までに要した時間の平均値は下表のとおりです。

表-5 【所要時間の平均値】

区分	覚知～出動	出動～現着	覚知～現着
全市域	1分43秒	5分40秒	7分23秒

※ 覚知とは、消防機関が火災等の災害を認知すること。

#### 4 初期消火状況

令和4年中に発生した27件の火災のうち、初期消火が行われたのは16件で、そのうち初期消火に成功した件数は13件でした。

表-6 【初期消火の実施件数】

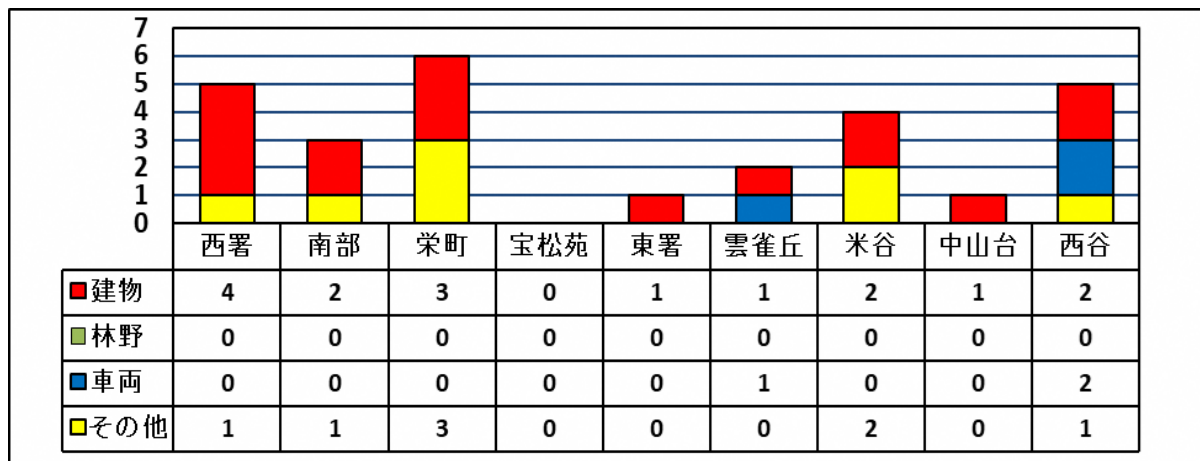
初期消火実施件数 消火種別	合計	建 物	林 野	車 両	そ の 他
	【16件】	【10件】	【0件】	【2件】	【4件】
水 パ ケ ッ					
強 化 液 消 火 器					
粉 末 消 火 器	3 (3)	1 (1)		1 (1)	1 (1)
水道、浴槽、汲み置き等の 水をかけた	9 (6)	6 (5)			3 (1)
寝具、衣類等をかけた	1 (1)	1 (1)			
も み 消 し た	2 (2)	1 (1)		1 (1)	
そ の 他	1 (1)	1 (1)			
合 計	16 (13)	10 (9)	0 (0)	2 (2)	4 (2)

※ ( ) 内の数字は初期消火に成功した件数を示す。

#### 5 署所別火災発生状況

各署所の管轄、受持地区内で発生した火災件数は表-7のとおりで、栄町が最も多く6件発生しています。

表-7 【署所別火災発生件数】



## 6 月別・時間別火災発生状況

月別の火災発生状況は、3月及び11月に4件と最も多く発生しています。時間別で見ると、15時から18時の時間帯に9件と最も多く発生しています。

**表-8 【月別・時間別火災発生件数】**

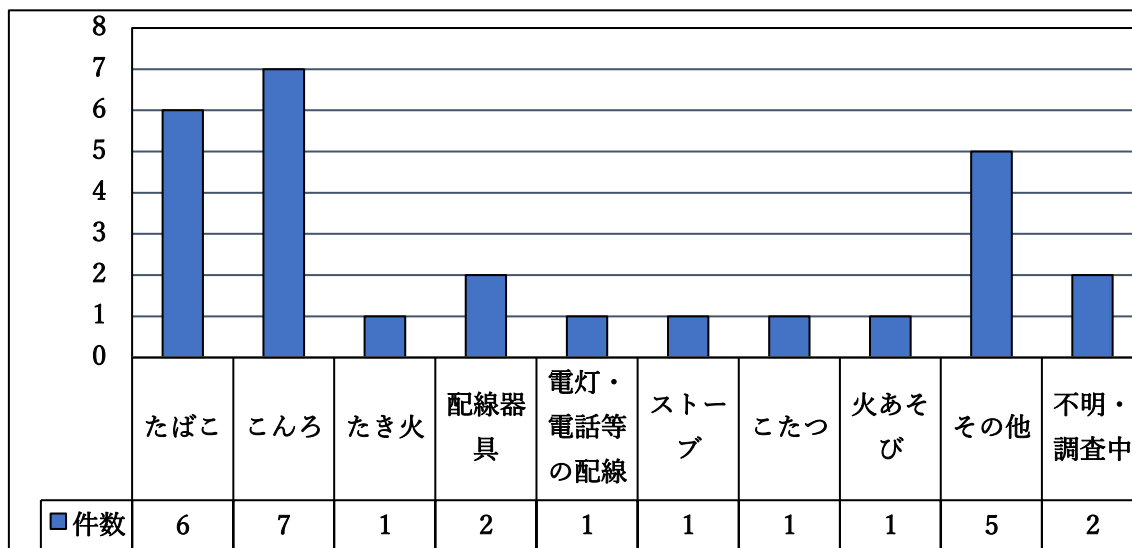
区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
建物	3	1	2	1		1		2	2	2	1	1	16	
林野													0	
車両						1	1				1		3	
その他		1	2		1		2				2		8	
計	3	2	4	1	1	2	3	2	2	2	4	1	27	
0 ~ 1			1										1	2
1 ~ 2									1				1	
2 ~ 3													0	
3 ~ 4									1	1	1		3	3
4 ~ 5													0	
5 ~ 6													0	
6 ~ 7			1										1	2
7 ~ 8			1										1	
8 ~ 9													0	
9 ~ 10	1						1						2	3
10 ~ 11													0	
11 ~ 12	1												1	
12 ~ 13								1					1	2
13 ~ 14													0	
14 ~ 15											1		1	
15 ~ 16							1						1	9
16 ~ 17	1	1						1					3	
17 ~ 18		1			1	1					1	1	5	
18 ~ 19				1									1	3
19 ~ 20							1				1		2	
20 ~ 21													0	
21 ~ 22			1										1	1
22 ~ 23													0	
23 ~ 24													0	
不明						1				1			2	2



## 7 出火原因

出火原因別では、こんろが7件、次いでたばこが6件となっています。

表－9 【出火原因別火災件数】



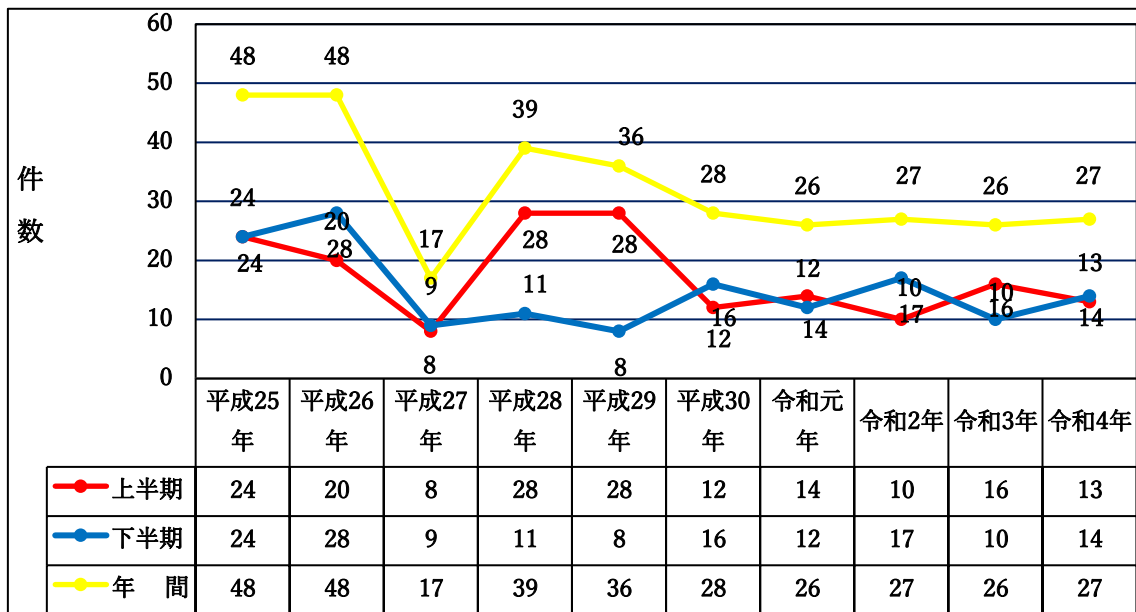
表－10 【火災種別毎の出火原因件数】

出火原因	合計	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災
たばこ	6	3			3
こんろ	7	7			
たき火	1				1
配線器具	2	2			
電灯・電話等の配線	1				1
ストープ	1	1			
こたつ	1	1			
火あそび	1				1
その他	5	1		2	2
不明・調査中	2	1		1	
合計	27	16	0	3	8

## 8 火災発生件数の推移（過去10年間）

過去10年間の発生の推移をみると、年間件数平均値は32.2件となっており、平成27年は過去最少となる17件を記録しました。

表－11 【火災発生件数の推移（過去10年間）】



## 9 その他の出動状況

火災以外のその他の災害出動状況は、表－12のとおり876件（前年917件）出動し、これは1日に約2.4件の割合で出動したことになります。

表－12 【その他の災害出動件数】

区分	合計	火災に至らず	誤報誤認虚報	警戒	油流出	ガス漏洩	特定救急	自火報	他市応援	捜索	その他
出動件数	876	15	47	215	32	3	415	78	48	3	20
出動台数	1277	99	340	221	34	4	417	79	60	3	20
出動人員	4905	362	1212	876	130	14	1664	323	235	11	78

※ 特定救急とは、救急現場に救急車と消防車が同時出動することをいう。

## 10 防災出動状況

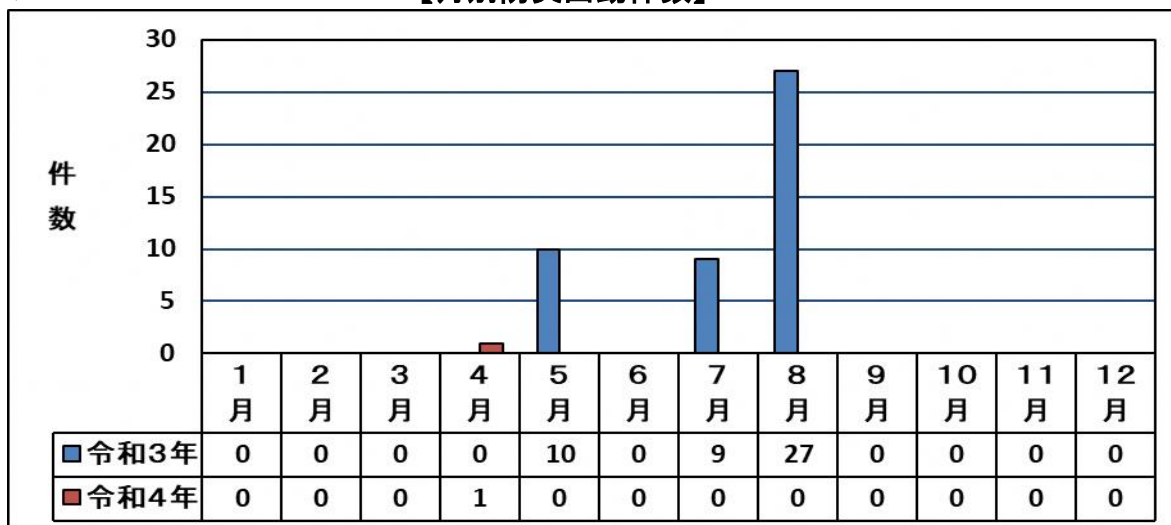
風雨等による災害の出動状況は、表－13のとおり1件（前年46件）出動し、前年より45件減少しています。

表－13 【防災出動件数】

区 分		令和4年 (A)	令和3年 (B)	増 減 (A)-(B)=(C)
風水害	出 動 件 数	1	1	0
	出 動 台 数	3	1	2
	出 動 人 員	7	4	3
警戒巡視	出 動 件 数	0	45	△ 45
	出 動 台 数	0	45	△ 45
	出 動 人 員	0	169	△ 169
合計	出 動 件 数	1	46	△ 45
	出 動 台 数	3	46	△ 43
	出 動 人 員	7	173	△ 166

※ 警戒巡視とは、災害警戒本部または災害対策本部が設置されており、かつ、時間雨量又は連続雨量が規定値を超えた場合に、市内の水害危険予想箇所等の巡視を行うことをいう。風水害とは、風雨等に伴う出動で、警戒巡視以外の出動のことをいう。

表－14 【月別防災出動件数】



## II 救急の概要

### 1 救急事故種別出動状況

令和4年中の救急出場件数は12,564件で、前年より1,604件増加しました。1日平均34.4件の割合で救急出動したことになります。事故種別では、急病、一般負傷、交通事故が全体の90.9%を占め、特に急病は、67.0%を占めています。

表-1 【前年との対比】

区 分	令 和 4 年 A	令 和 3 年 B	増 減 A - B = C
出 場 件 数	12,564	10,960	1,604
傷 病 者 搬 送 件 数	10,962	9,869	1,093
不 搬 送 件 数	1,602	1,091	511
火 災	15	17	△ 2
自 然 災 害	0	1	△ 1
水 難	2	4	△ 2
交 通	593	597	△ 4
労 働 災 害	64	75	△ 11
運 動 競 技	45	37	8
一 般 負 傷	2,409	2,114	295
加 害	23	27	△ 4
自 損 行 為	78	105	△ 27
急 病	8,414	7,111	1,303
転 院 搬 送	746	715	31
医 師 搬 送	13	7	6
医 療 資 器 材	0	1	△ 1
そ の 他	162	149	13
1 日 平 均	34.4	30.0	4.4
覚 知 ~ 現 場 到 着	9分25秒	8分 42秒	43秒
覚 知 ~ 病 院 到 着	43分14秒	39分 25秒	2分49秒

※ △は減少を示す。

## 2 傷病程度別搬送状況

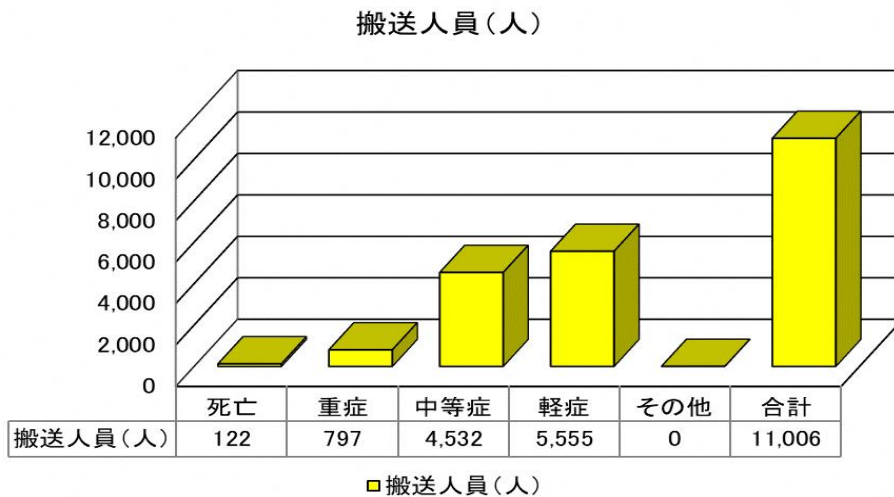
令和4年中の病院への搬送人員は11,006人で、前年の9,910人に比べ、1,096人増加しました。市民20.3人に1人が救急車で運ばれたことになりました。事故種別では急病の搬送人員が最も多く、2番目に多いのは一般負傷となりました。傷病程度別では、死亡、重症、中等症の傷病者の割合は49.5%、入院の必要なしと診断された軽症の傷病者は50.5%を占めています。

表-2-1 【前年との対比】

区 分	令 和 4 年 A	令 和 3 年 B	増 減 A - B = C	傷 病 程 度					合 計
				死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	
搬送人員	11,006	9,910	1,096	122	797	4,532	5,555	0	11,006
火 災	8	9	△ 1	0	0	3	5	0	8
自然災害	0	1	△ 1	0	0	0	0	0	0
水 難	1	0	1	0	0	0	1	0	1
交 通	513	558	△ 45	2	27	86	398	0	513
労働災害	62	73	△ 11	0	4	18	40	0	62
運動競技	44	37	7	0	0	8	36	0	44
一般負傷	2,198	1,956	242	10	198	655	1,335	0	2,198
加 害	17	20	△ 3	0	0	3	14	0	17
自損行為	55	71	△ 16	4	9	24	18	0	55
急 病	7,363	6,470	893	106	440	3,195	3,622	0	7,363
そ の 他	745	715	30	0	119	540	86	0	745

※ △は減少を示す。

表-2-2 【傷病程度別搬送人員】



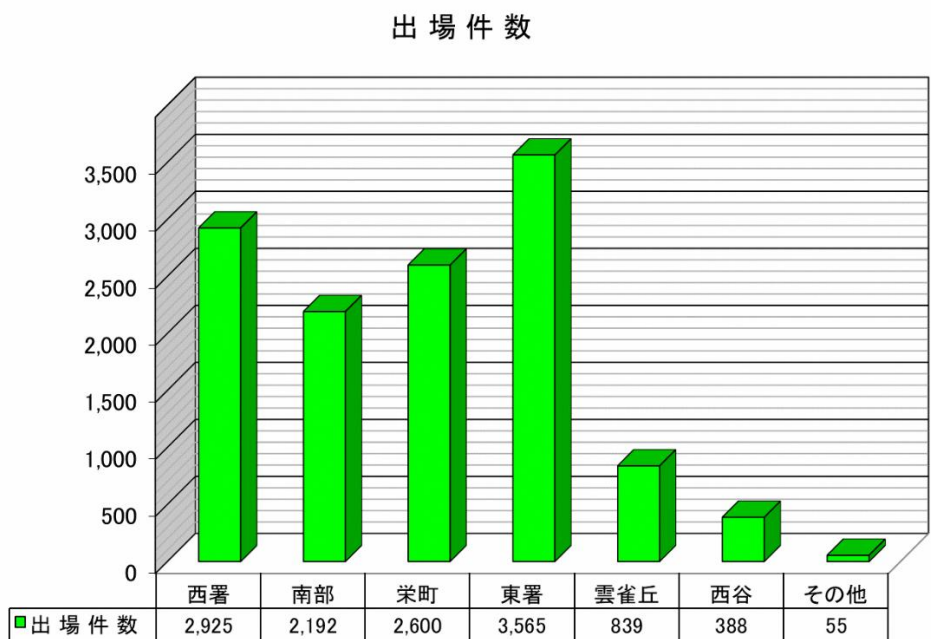
### 3 署所別出動状況

総出動件数12,564件のうち、西消防署（南部出張所・栄町出張所含む）が7,717件（61.4%）、東消防署が（雲雀丘出張所、西谷出張所含む）4,792件（38.1%）、その他（非常用編成）が55件出場しています。

**表－3－1 【署所別出動件数1】**

区 分	合 計	西 消 防 署				東 消 防 署				その他 小 計
		小 計	本 署	南 部 出 張 所	栄 町 出 張 所	小 計	本 署	雲 雀 丘 出 張 所	西 谷 出 張 所	
出 場 件 数 (件)	12,564	7,717	2,925	2,192	2,600	4,792	3,565	839	388	55
構 成 比 (%)	100.0	61.4	23.3	17.4	20.7	38.1	28.4	6.7	3.1	0.4
1 日 平 均 (件)	34.4	21.1	8.0	6.0	7.1	13.1	9.8	2.3	1.1	0.2
1 カ 月 平 均 (件)	1047.0	643.1	243.8	182.7	216.7	399.3	297.1	69.9	32.3	4.6

**表－3－2 【署所別出動件数2】**



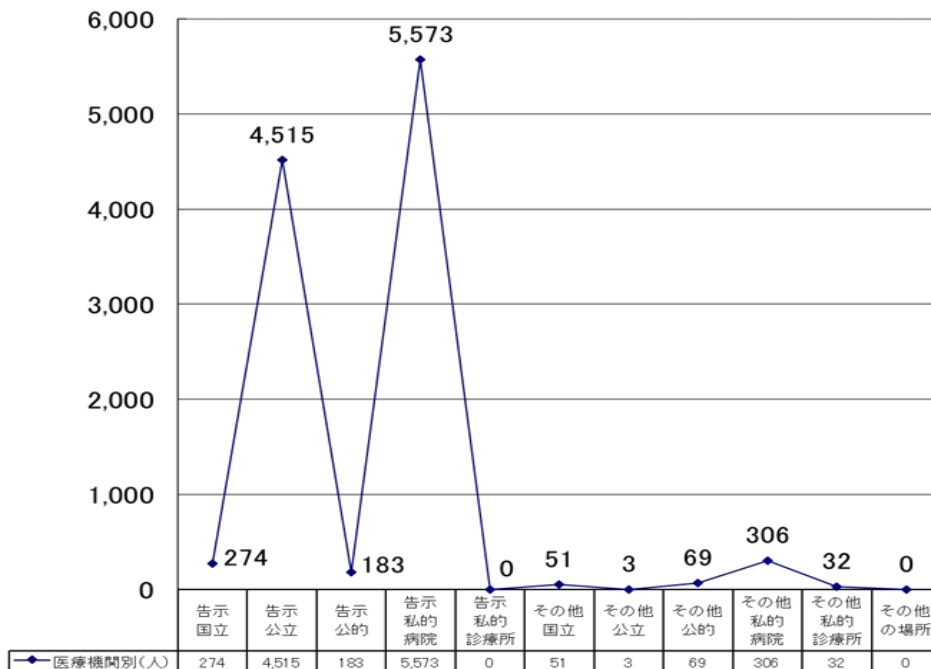
#### 4 医療機関別搬送状況

搬送状況を収容医療機関別に区分すると、搬送人員の95.8%を占める10,545人が救急告示病院に搬送され、461人がその他の医療機関に搬送されました。また、市内の救急告示病院への搬送人員は7,345人で全体の66.7%を占め、その他の医療機関を含めると7,374人となり市内へは67.0%が搬送されたこととなります。

表-4-1 【医療機関別搬送状況1】

区分	救急告示医療機関					その他の医療機関					その他の場所	合計 (人)		
	国立	公立	公的	私的		国立	公立	公的	私的					
				病院	診療所				病院	診療所				
市内	0	2,976	0	4,369	0	7,345	0	0	0	4	25	29	0	7,374
市外	274	1,539	183	1,204	0	3,200	51	3	69	302	7	432	0	3,632
合計	274	4,515	183	5,573	0	10,545	51	3	69	306	32	461	0	11,006

表-4-2 【医療機関別搬送状況2】



※ その他の場所は、診療のため接骨院へ搬送及び医療機関へ収容目的でヘリポートへ搬送した場合などをいうが該当はなかった。

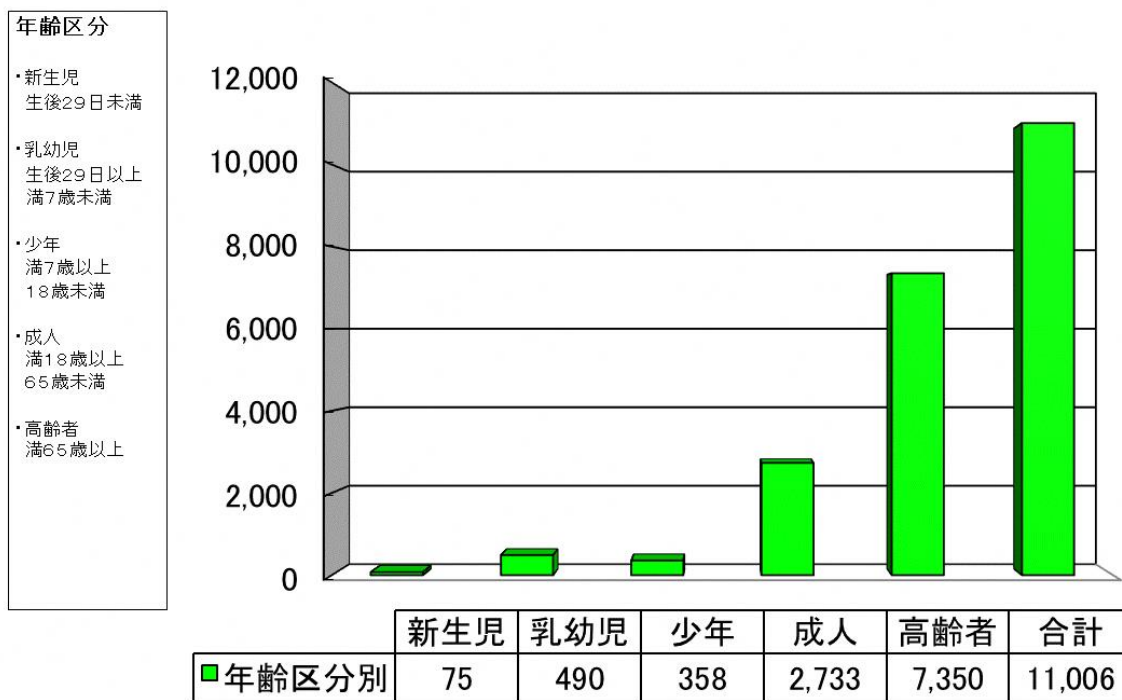
## 5 年齢区分別搬送状況

年齢区分別にみると、新生児75人（0.7%）、乳幼児490人（4.5%）、少年358人（3.3%）、成人2,733人（24.8%）、高齢者が7,350人（66.8%）となっています。高齢者の搬送割合が高く、高齢者の急病は5,011人で、高齢者全体の搬送のうち68.2%を占めます。

表-5-1 【年齢区分別搬送状況1】

区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	66	75
乳幼児	0	0	0	9	0	0	123	2	0	337	19	490
少年	0	0	0	51	1	26	72	3	3	196	6	358
成人	6	0	1	295	47	13	302	7	41	1,810	211	2,733
高齢者	2	0	0	158	14	5	1,701	5	11	5,011	443	7,350
合計	8	0	1	513	62	44	2,198	17	55	7,363	745	11,006

表-5-2 【年齢区分別搬送状況2】





## 6 月別・曜日別出動状況

月別出場件数は、7月、8月、12月が1,200件を超えました。

表-6-1 【月別出動件数】

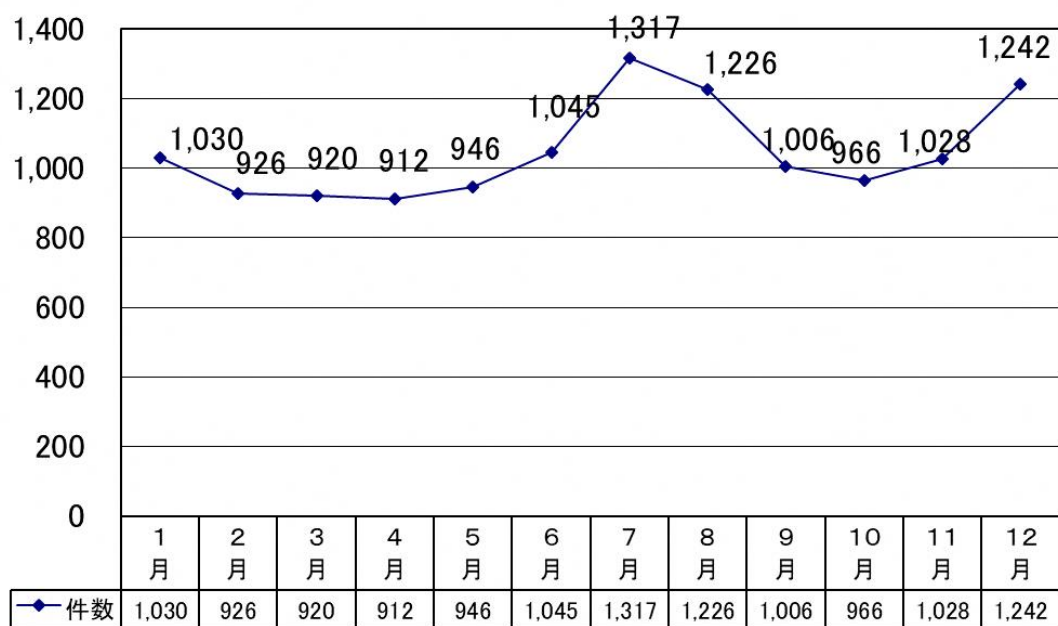
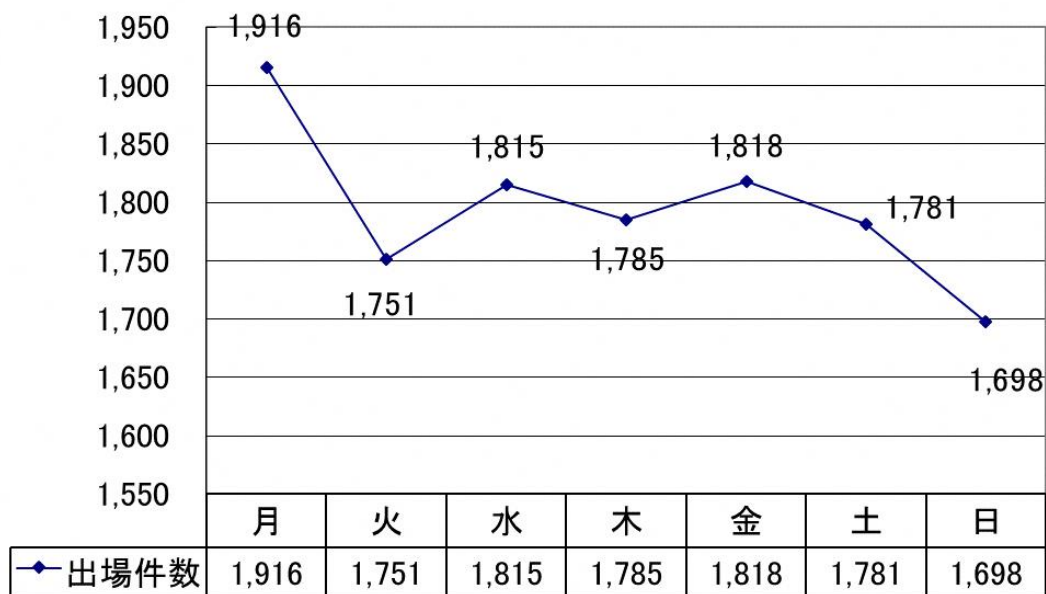


表-6-2 【曜日別出動件数】

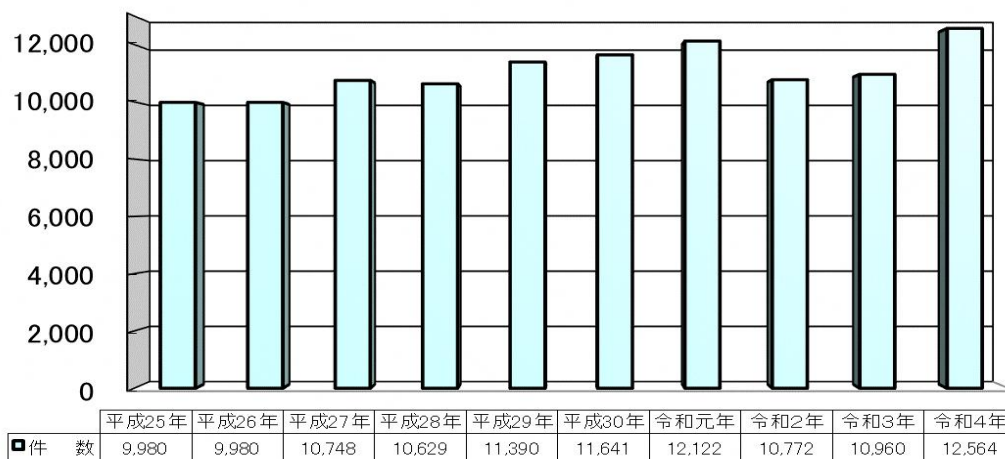


## 7 救急出動件数の推移

過去10年間の推移をみると、平成26年まで9,000件台後半で推移していましたが、平成27年からは10,000件を超え、平成29年、平成30年は11,000件台で推移し、令和元年は12,000件を超えました。令和2年の新型コロナウイルス感染症流行以降、救急出動件数は減少傾向となり、令和2年、令和3年は11,000件を下回っています。

令和4年は大幅に増加し、過去最高の12,564件となりました。

表-7-1 【救急出動件数の推移(過去の10年間)】



救急出動件数の多くを占める、急病、交通事故、一般負傷の過去10年の推移は、下表-7-2のとおりです。

表-7-2 【急病・交通事故・一般負傷の出動件数(過去10年間)】

区分	急病	交通事故	一般負傷	その他
平成25年	6,369	779	1,686	1,146
平成26年	6,319	765	1,749	1,147
平成27年	6,775	817	1,974	1,182
平成28年	6,829	755	1,891	1,154
平成29年	7,196	823	2,077	1,294
平成30年	7,420	772	2,137	1,312
令和元年	7,805	695	2,287	1,335
令和2年	6,897	566	2,105	1,204
令和3年	7,111	597	2,114	1,138
令和4年	8,414	593	2,409	1,148

※ その他とは、火災、労働災害、運動競技、加害、自損行為、転院搬送及びその他の出動件数を示す。

### Ⅲ 救助の概要

#### 1 救助事故種別出動状況

令和4年中の救助出動件数は、255件で前年に比べ26件増加しました。救助活動件数は、215件で前年より20件増加し、救助人員は、158名で11名増加しました。

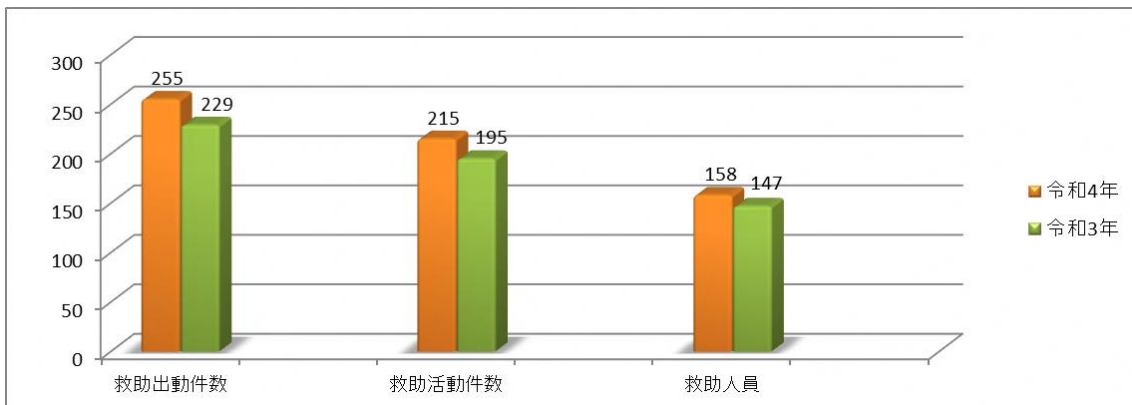
事故種別ごとの救助出動件数をみると、風水害等自然災害、破裂事故の発生はなく、建物等の事故、その他の事故が多く発生しています。

表-1-1 【前年との対比】

区分	令和4年	令和3年	増減	
	(A)	(B)	(A)-(B)=(C)	
救助出動件数	255	229	26	
救助活動件数	215	195	20	
救助人員	158	147	11	
出動人員	救助隊専任	1748	1676	72
	救助隊兼任	9	43	△34
	消防隊	1237	1204	33
	救急隊	757	658	99
火災	建物	2	4	△2
	建物外	0	0	0
交通事故	17	21	△4	
水難事故	3	3	0	
風水害等自然災害	0	0	0	
機械による事故	1	1	0	
建物等による事故	113	104	9	
ガス及び酸欠事故	2	0	2	
破裂事故	0	0	0	
その他の事故	117	96	21	

※ △は減少を示す。

表-1-2 【救助出動件数・救助活動件数及び救助人員】



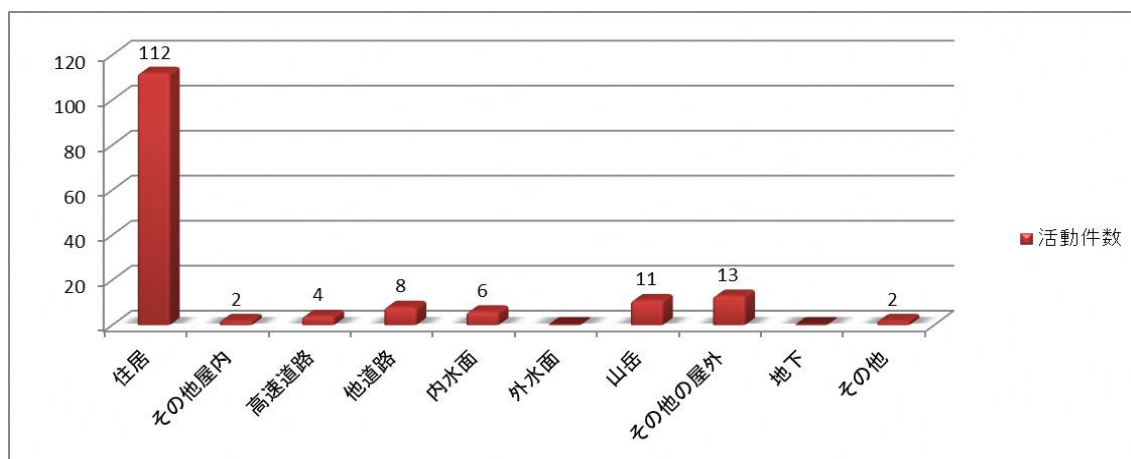
## 2 発生場所別活動件数・救助人員状況

救助活動件数は、215件で前年より20件増加し、救助人員は、158名で11名増加しました。

表-2-1 【発生場所別活動件数・救助人員】

区 分	活動件数 救助人員	屋 内		屋 外						地下	その他	
		住居	その他屋内	道 路		水 面		山 岳	その他の屋外			
				高速道路	他道路	内水面	外水面					
火 災	建 物											
	建 物 以 外											
交 通 事 故	11			4	4					1		2
水 難 事 故	1						1					
自 然 災 害												
機 械 に よ る 事 故												
建 物 等 に よ る 事 故	107	105	1							1		
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	2				2							
破 裂 事 故												
そ の 他	37	7	1		2		5		11	11		
合 計	158	112	2	4	8		6		11	13		2

表-2-2 【発生場所別活動件数】



### 3 建物内生存者確認による出動状況

建物内生存者確認による出動状況は、令和4年中の救助出動255件の内、建物内生存者確認による出動は、123件で48%を占めています。

表-3-1 【建物内生存者確認による月別出動件数1】

事故種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
要救助者有	5	5	6	4	6	2	8	8	6	2	1	3	56
誤報(外出・入院等)	1	5	4	3	7	8	4	6	4	8	5	12	67
合計	6	10	10	7	13	10	12	14	10	10	6	15	123

※ 誤報とは、建物内における生存者確認のために出動したが、外出、入院等で不在の場合や、在宅中であり、呼び出しに対し出てくる場合及び睡眠中、いたずら等をいう。

表-3-2 【建物内生存者確認による月別出動件数2】

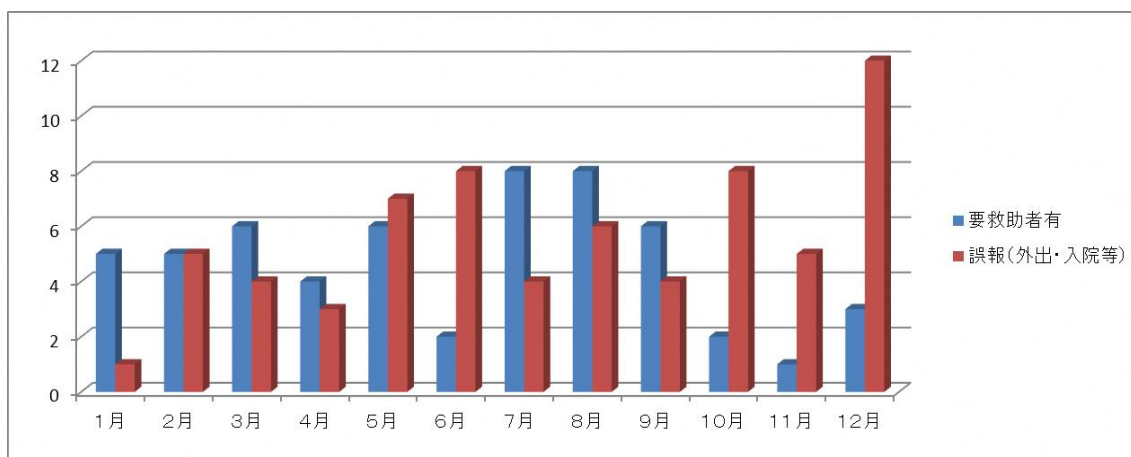
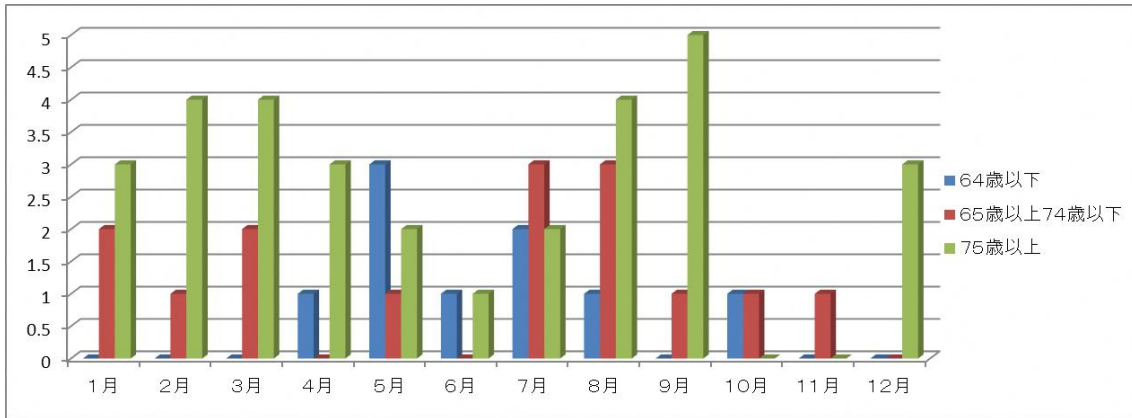


表-3-3 【建物内生存者確認による出動の内、年齢別の人数1】

種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
64歳以下				1	3	1	2	1		1			9
高齢者(65歳以上74歳以下)	2	1	2		1		3	3	1	1	1		15
後期高齢者(75歳以上)	3	4	4	3	2	1	3	4	5			3	32
合計	5	5	6	4	6	2	8	8	6	2	1	3	56

※ 建物内生存者確認（誤報は除く）による出動の内、高齢者及び後期高齢者が占める割合は全体の83%である。

表－３－４ 【建物内生存者確認による出動の内、年齢別の人数２】



表－３－５ 【建物内生存者確認による出動の内、年齢別の死亡者数】

種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
64歳以下						1	2	1					4
高齢者(65歳以上74歳以下)	2		1		1		1	2		1	1		9
後期高齢者(75歳以上)	1	3	3	1	1		2		2			2	15
合計	3	3	4	1	2	1	5	3	2	1	1	2	28

※ 建物内生存者確認（誤報は除く）による出動に係る死亡者数の内、高齢者及び後期高齢者が占める割合は全体の42%である。



宝塚市消防本部